阿賀町の教育2023 評価まとめ

阿賀町教育委員会･学校教育課　令和6年3月

評価の実施

令和5年度阿賀町の教育の達成状況について評価した。

評価者

・保育園関係者：園長、保護者会代表

・小中学校関係者：管理職（または管理職が委任した者）、学校運営協議会委員

・阿賀黎明高校関係者：管理職（または管理職がい員にした者）、学校運営協議会委員

回答数：27

評価の基準

次のように設定する。（肯定的回答の割合）

・90%　　・・・A

・89～70%　・・・B

・69%以下　・・・C

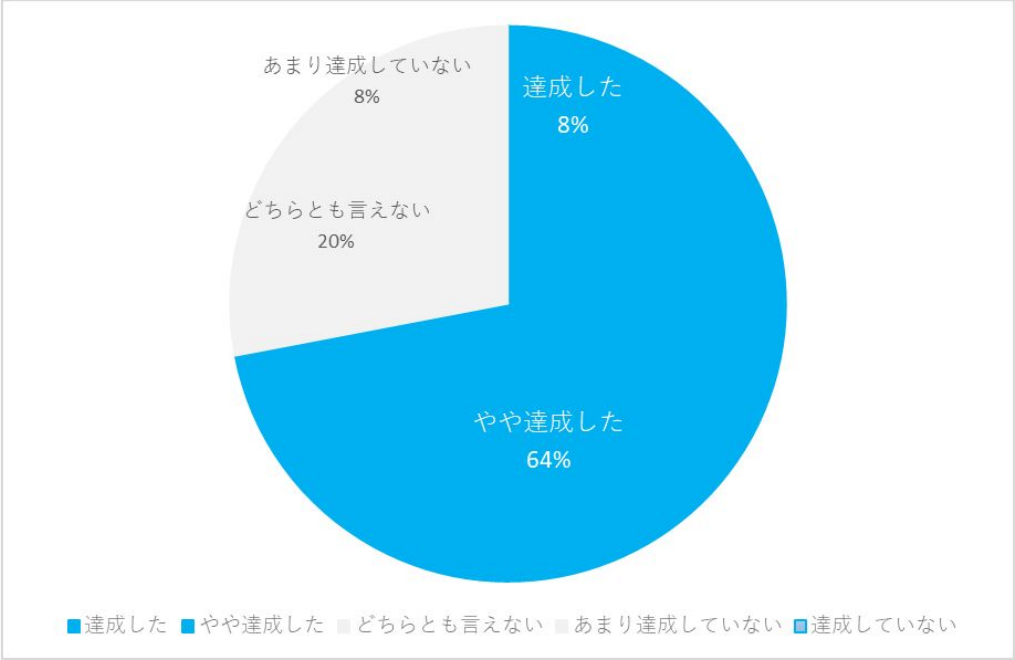
目指す子どもについて

●目指す子どもの姿

「ふるさとを愛し、夢を持ち、意欲的に学び自らの未来を切り拓く子」

●結果：B

●理由（次頁）



理　由（1/2）

・狐の嫁入り行列にこぎつねの踊りとして楽しく参加したため。

・課外授業などに同行した時

・未来フォーラムの内容が非常に進化している

・生徒アンケートの郷土愛に関する評価数値が改善している。

・子どもとの会話でそう感じている。

・児童アンケート「阿賀町が好きですか」に肯定的な回答が90%以上である

・今は経験することが大事で、成果が出てくるのはこれからだと思います

・取り組みは分かるが、成果が出ているようには思えない。

・意欲的な生徒も増えてきているように感じるが　まだ過半数以上ではない。

・子供達の郷土愛は深まってきていると思う。しかし、自らの未来を切り拓く子たちというのは、なか　なか成果として目に現れにくく感じる。

・表情を見ているだけなので感覚でお答えしました。

理　由（2/2）

・授業であり、やらせ感もあるのでは？　実際、どれだけ地元な、夢、希望を持っているのでしょうか？　こん　な考えを持っていては、ダメなんでしょうが、大人も希望に悩んでいるのに、次世代に希望を持てとは、言え　ない。

・役職上、高校生に関してのみの回答となるが、意欲的に学ぶ姿勢は感じ取れた。夢を持つこ事と、未来を切り　開く力についても、引続き期待していきたい。

・全学年の授業参観と教育活動を通じて感じ取れた。

・具体的な指標がないので達成度が分からない。

・意欲的に学習をしている児童が多くなった。

・保育園行事を通じて、自然豊かな町でのびのびと過ごす事ができたことは。

・阿賀学ガイドブックを参考に生活科、総合的な学習において『ひと、もの、こと』とのつながりを重視した学　習活動を実施することができたため。

・阿賀学は楽しんで取り組んでいたように感じる。子ども未来フォーラムや高校の授業では阿賀町の魅力より不　便さを語る場面が多く見られた。

・地域の方との協力を得て年長児が米作りに挑戦、自然と触れ合える活動を行えた

園、小中、高校で目指す子どもについて

●評価：C

保育園：C

小学校：B

中学校：C

高　校：C

園・校種（数）	達成	やや達成	どちらとも言えない	あまり達成していない	達成していない
保育園（3）	1	2	1	1	
小学校（3）	1	2			1
中学校（2）		1		1	
高　校（1）		1		1	
計	2	6	1	3	1

理由

・きつねの嫁入り屋敷の見学やお面作りなどを通して興味を持って活動した。

・生徒の実態から、素直であるが積極性や主体性をさらに伸ばす必要があると見取っているから。

・児童アンケートから判断しました

・日頃の授業および研究授業において主体性を発揮して学習を深める児童が多くなった。

「保育10の姿」の実現

●評価：A

園・校種（数）	達成	やや達成	どちらとも言えない	あまり達成していない	達成していない
保育園（3）	2	4			

「身に付ける力（小学校）」の達成度

●評価：B

「協力する力」　：B

「感情を・・・」：B

「優しさ・・・」：A

身に付ける力	十分身に付いている	やや身に付いている	どちらとも言えない	あまり身に付いていない	身に付いていない
協力する力	6	7	2	0	0
感情をコントロールする力	3	10	2	0	0
優しさと思いやり	7	7	1	0	0

「身に付ける力（中学校）」の達成度

●評価：C

「伝え合う」　：C

「受容する」　：B

「多様な・・・」：C

身に付ける力	十分身に付いている	やや身に付いている	どちらとも言えない	あまり身に付いていない	身に付いていない
伝え合う力	2	3	2	1	0
受容する力	1	5	2	0	0
多様な他者と関わる力	2	2	3	1	0

「身に付ける力（高　校）」の達成度

●評価：B

「前に・・・」　：B

「考え抜く」　　：B

「チームで・・」：B

身に付ける力	十分身に付いている	やや身に付いている	どちらとも言えない	あまり身に付いていない	身に付いていない
前に踏む出す力	0	5	0	1	0
考え抜く力	0	4	0	0	1
チームで働く力	1	3	1	0	0

「15年を貫く重点」取組状況

●評価：B

言語能力　：B

人権教育　：B

ICT教育　　：B

キャリア　：C

主権者教育：C

15年を貫く重点	十分取り組んだ	やや取り組んだ	どちらとも言えない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない
言語能力の育成	2	5	1	0	0
人権教育の推進	2	4	1	1	0
ICT教育の推進と充実	5	0	0	2	0
キャリア教育（パスポート）	1	2	2	2	1
主権者教育	0	2	2	3	1

「家庭での取組」状況（園・学校関係者）

●評価：B

「たくさん・・」：C

「健康的・・・」：A

「メディア・・」：B

「家族で・・・」：A

観点	十分働きかけた	やや働きかけた	どちらとも言えない	あまり働きかけていない	取働きかけていない
たくさん遊び・・・	1	4	1	1	1
健康的な生活習慣	6	2	0	0	0
メディアコントロール	3	3	1	1	0
家族で対話	2	6	0	0	0

「家庭での取組」状況（保護者）

●評価：B

「たくさん・・」：A

「健康的・・・」：B

「メディア・・」：C

「家族で・・・」：A

観点	十分取り組んだ	やや取り組んだ	どちらとも言えない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない
たくさん遊び・・・	5	2	0	0	0
健康的な生活習慣	4	2	1	0	0
メディアコントロール	2	2	2	1	0
家族で対話	4	3	0	0	0

「地域での取組」状況（園・学校関係者）

●評価：A

「CSの充実」：A

「学校と・」：A

「こどもの」：B

※園は「3」のみ回答

観点	十分働きかけた	やや働きかけた	どちらとも言えない	あまり働きかけていない	取働きかけていない
CSの充実	4	1	0	0	0
学校と共にある地域	5	0	0	0	0
子どもの自律・自律を育む連携	2	3	1	0	0

「地域での取組」状況（CS委員）

●評価：B

「CSの充実」：B

「学校と・・」：B

「こどもの」　：B

観点	十分取り組んだ	やや取り組んだ	どちらとも言えない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない
CSの充実	5	9	2	1	0
学校とともにある地域	8	6	2	1	0
子どもの自律・自立をはぐくむ連携	4	8	3	1	0

「阿賀学」の成果

●評価：B

※保育園（1園）、高校回答なし

	成果があった	やや成果があった	どちらとも言えない	あまり成果がなかった	成果がなかった
保・小・中校長	3	4	1		

理由

きつねの嫁入り行列を通して、園全体で行事に興味を持つようになった。

生徒アンケートの郷土愛に関する項目の数値が改善されたから。

今までの実践を整理し、「大好き　みかわ！」として」単元化することで、全校をあげて体験活動や調べ学習を実施できたから

未来フォーラムに参加した6年生だけでなく、全ての学年が阿賀学を意識したふるさと学習を展開していた。

「阿賀町の教育」への提案　1/3

・今後も阿賀町の良さ教えて下さい。

・15年教育の充実　役員と先生方の密な交流　子供達に対し少数精鋭の教育

・阿賀町で学んだものをどこの地域又は国であっても社会貢献し、活躍して欲しい。

・未来フォーラムについて、当該学年の保護者の参観を呼びかけると良いと思います。

・今後は主権者教育なども必要になってくるのではないでしょうか

・郷土を愛おしみ思いやりのある学校運営を目指すのはよいが、そちらに向けた取り組みには時間を掛け過ぎているようにも思える。学校の本分である、勉学に注力した方が良いと考えます。

「阿賀町の教育」への提案　2/3

・それぞれの学校運営協議会を取りまとめる組織が必要。充分な取り組みができているとはいいがた　く活発に進めていくためにも共有や他校の活動を参考にしたり　意見交換できる。

・コミュニティスクールをもっと上手く活用する必要があると思います。それぞれの協議会が最低で　も年に数回はコミュニケーションを取るべきだと思いますし、学び実践していることを共有してい　かなければいけないと思います。また連携できるところは連携して、阿賀町全体として、教員、委　員だけでなく、保護者もビジョンの共有が必要だと思います、

・中高一貫校はいまいちでしたか、枠、にとらわれず、地元交流、地元を見る事で、地元愛も大きく　なるのでは？　先輩って存在は、下級生にとって、憧れであったり、夢、真似、プラスに繋がる要　素になるのではないかと思います。

「阿賀町の教育」への提案　3/3

・今後も関係者の連携を強化していくために、各階層（保育園、小、中、高校）に携わる各団体や組　織の関係者において、縦横断的な意見交換や情報交換の場があると良いと感じます。

・ご多忙とは存じますが、年に一度は学校運営協議会に関連したミーティング（話し合い）などを実　施できたらと思います。

・保小中高での一貫した目標の具体的な表現と各段階別の達成目標が必要かと思います。

・各校や園の阿賀学をPRするスペースを設ける

・保護者のコミュニティ・スクールについての認知度と当事者意識をもっと上げたほうが良いのでは　ないかと思います。

・集計が得やすいQRコード方式に追いつけない高齢者の悲しみが創造できる町になれるとよいと思い　ます。